

令和3年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 75

千葉県立成田北高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

次のア、イに当てはまり、入学後も諸活動に取り組む意思を有する者。

ア 学習や課外活動、地域での活動等において、積極的・自主的に取り組んでおり、意欲を持って活動することができる生徒。

イ 様々な場面において、周囲と協働し、最後までやり遂げようと努めることができる生徒。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査 (自己表現)	次のア、イのいずれかを、出願時に志願者が選択する。 ア 口頭による自己表現 与えられたテーマに沿った日本語による自己アピール(1分間) 及びその内容に関する質疑応答(2分間) 実施形態：個人で発表 検査時間：3分 イ 実技による自己表現 実施形態：個人で発表(ただし、団体種目は複数人数で実施) 次の種目のうち1つを選択 野球(男)・サッカー(男)・バスケットボール(男女) バドミントン(男女)・バレーボール(女)・陸上競技(男女) 検査時間：20分～60分程度 (種目により異なる。※一人あたりは5分程度)

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の 得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の 得点	20点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔185点満点〕

アの数値に、エ～カについて加点（上限50点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間で合計30日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が一つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録	学級活動、生徒会活動、学校行事において、特に積極的に取り組んだと認められる内容や役職について加点する。
オ 部活動の記録	3年間部活動に加入、活動実績（県大会出場等）、役職等について加点する。
カ 特記事項	英語検定・漢字検定等の取得級、その他段位等の資格に応じて加点する。
キ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。また、問題となる内容等は、審議の対象とする。

(3) 学校設定検査（自己表現）〔50点満点〕

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（やや優れている）・c（標準的である）・d（問題がある）の4段階で評価する。

2名の評価者による評価項目ごとの評価の組合せ（a a～d d）で得点化する。d dの評価の組合せがある場合には、審議の対象とする。

ア 口頭による自己表現（与えられたテーマに沿った日本語による自己アピール）

評価項目	評価基準
(ア) 発表内容	発表内容が整理されており、分かりやすくまとまっている。
(イ) 答え方	質疑に対して、適切に応答することができる。
(ウ) 意欲・態度	発表に積極的・意欲的に取り組んでいる。 発表における態度が適切である。

イ 実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 基礎的技能	当該種目における基礎的技能を身に付けている。
(イ) 専門的技能	当該種目における専門的技能を身に付けている。
(ウ) 意欲・態度	当該種目に積極的・意欲的に取り組んでいる。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定 (K=1)	加点	自己表現	
500点	135点	50点	50点	735点

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面接を行う。